

書道 I

書道 I	単位数	2 単位
	学科・学年・学級	〇〇〇〇科 第〇〇学年 〇〇組

1 学習の目標

学習の目標	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。
使用教科書・副教材等	東京書籍「書道 I」

「書道」の評価の観点の趣旨

書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。

2 学習計画

(1) 年間指導計画案

月	分野	学習内容 (教科書の構成)	教科 書頁	配当 時数	学習活動	学習指導要領の内容
四月	書 写 か ら 書 道 へ	1 書写の確認 ・楷書の基本 ・行書の基本	2～4	1	・中学校書写で学習したことの確認として、楷書と楷書に調和する仮名について学習する。 ・中学校書写で学習したことの確認として、行書と行書に調和する仮名について学習する。	A(1)イ,ウ Bア 内容の取扱い(2),(3)
		2 用具・用材 ・文房四宝	5～7	1	・書道の学習に必要な用具・用材について理解し、丁寧に扱う態度を養う。	A(1)ア Bア
		3 姿勢・執筆法 ・いろいろな姿勢 ・執筆法	8～9		・書く姿勢、腕の構え方、筆の持ち方について、いろいろな方法があることを理解する。	A(1)ア Bウ
		コラム：落款を学ぼう	10		・落款の意味や、その種類などについて理解する。	A(1)ア,ウ 内容の取扱い(6)
五月	漢 字 の 書	1 漢字の書を学ぶ ・漢字の成立と変遷 ・古典に基づく学習 【臨書】	12～14	2	・漢字の成立と変遷について理解する。 ・臨書の意味や方法を理解し、関連する書道用語について学習する。	A(2)ウ,エ Bウ,エ
		2 楷書 ・楷書の用筆法・結構法	15		・楷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解し、練習する。	A(2)ア,イ Bイ 内容の取扱い(1)(2)
		・楷書の成立と唐の四大家	16～17		・楷書の成立について理解し、唐の四大家の書風をはじめ、さまざまな書風の楷書があることについて理解を深める。	A(2)イ,ウ,エ Bイ,ウ 内容の取扱い(1)(2)
六月	漢 字 の 書	・楷書の比較	18～19	2	・「九成宮醴泉銘」の特徴を理解する。 ・「孔子廟堂碑」の特徴を理解する。 ・両者を比較し、字形や用筆法の共通点と相違点について考える。	A(2)イ,ウ,エ Bイ,ウ 内容の取扱い(1)(2)
		臨書・鑑賞 ・九成宮醴泉銘 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・自書告身 ・牛橛造像記 ・鄭義下碑 ◆チャレンジ ・隅寺心経	20～31	10	・楷書の古典を臨書する意義について理解する。 ※「人物」なども活用する。 ・楷書の古典の美について理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて注意して臨書する。 ※「字形と筆順」なども活用する。 ・楷書の古典を鑑賞する意義について理解する。 ◆チャレンジ ・楷書小字としての写経について理解を深め、最後まで書きあげることで達成感を味わう。	A(2)イ,ウ,エ Bイ,ウ 内容の取扱い(1)(2)

月	分野	学習内容 (教科書の構成)	教科 書頁	配当 時数	学習活動	学習指導要領の内容
七月		3 行書 ・行書の特徴	32	1	・行書の用筆、運筆、字形の取り方について理解し、練習する。 ・行書の特徴を理解する。	A(2)イ Bイ,ウ 内容の取扱い(1)(2)
		臨書・鑑賞 ・蘭亭序(神龍半印本) ◆チャレンジ ・次の語句で学びましょう。 臨書・鑑賞 ・争坐位文稿 ・風信帖(第一通) ◆チャレンジ ・李嶠詩殘卷 ・伊都内親王願文	33~47	7	・行書の古典を臨書する意義について理解する。 ※「人物」なども活用する。 ・中国や日本の行書の古典の美について理解し、用筆、運筆、字形の取り方を学び、それぞれの書風の違いに注意して臨書する。 ※「字形と筆順」なども活用する。 ・教材に真跡と拓本があることに注意しながら、行書の古典を鑑賞する意義について理解する。 ◆チャレンジ ・教科書に載っている文言を参考に、「蘭亭序」を全臨したり、短い言葉を書いたりして、行書の学習を深める。 ・三筆の嵯峨天皇と橘逸勢の書について臨書・鑑賞し、その用筆、運筆、字形の取り方を学ぶ。	A(2)イ,ウ,エ Bイ,ウ 内容の取扱い(1)(2)
九月	漢字の書	4 草書 ・草書の成立と特徴	48	1	・草書が成立する過程や草書の特徴について理解する。	A(2)イ Bイ,ウ 内容の取扱い(1)(2)
		臨書・鑑賞 ・真草千字文	49	2	・「真草千字文」の臨書を通して、草書の用筆、運筆、字形の取り方を理解する。 ・「真草千字文」を鑑賞する。	A(2)イ,ウ,エ Bイ,ウ 内容の取扱い(1)(2)
		5 隷書 ・隷書の成立と特徴	50	1	・隷書が成立する過程や隷書の特徴について理解する。	A(2)イ Bイ 内容の取扱い(1)(2)
		臨書・鑑賞 ・曹全碑 ◆チャレンジ ・乙瑛碑 ・居延漢簡	51~53	3	・「曹全碑」の臨書を通して、隷書の用筆、運筆、字形の取り方を理解する。 ・「曹全碑」を鑑賞する。 ◆チャレンジ ・「乙瑛碑」「居延漢簡」を臨書・鑑賞し、その用筆、運筆、字形の取り方を学ぶ。	A(2)イ,ウ,エ Bイ,ウ 内容の取扱い(1)(2)
		6 篆書 ・篆書の成立と特徴	54	1	・篆書が成立する過程や篆書の特徴について理解する。	A(2)イ Bイ,ウ 内容の取扱い(1)(2)
十月		臨書・鑑賞 ・泰山刻石	55	1	・「泰山刻石」の臨書を通して、篆書の用筆、運筆、字形の取り方を理解する。 ・「泰山刻石」を鑑賞する。	A(2)イ,ウ,エ Bイ,ウ 内容の取扱い(1)(2)
		創作の手順 ・古典の特徴や技法を生かして 創作参考作品 コラム:鑑賞会をしよう	56~59 60	3	・創作の手順に従い、漢字の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして、創作する。 ・創作参考作品を鑑賞し、感想を述べ合う。 ・鑑賞カードをもとに、互いの作品を見せ合い、認め合う。	A(2)ア,イ,ウ,エ Bイ,ウ 内容の取扱い(1)(2)(5)(6) Bイ 内容の取扱い(1)(5)
		1 仮名の成立 ・仮名の種類 ・現在の仮名の種類 ・仮名の美	62~63	1	・仮名が成立する過程や仮名の種類などについて理解する。	A(3)ア,イ Bエ 内容の取扱い(2)
十一月	仮名の書	2 仮名の用具・用材 ・用具・用材の種類	64		・仮名の用具・用材と、それぞれの特徴について理解する。	A(3)ア Bエ
		3 仮名の筆使い ・いろいろな線	65	1	・仮名の基本的な線、運筆について理解し、練習する。	A(3)イ Bイ
		4 平仮名の単体 ・古典から集字した平仮名	66~67	4	・平仮名の単体の特徴について理解し、練習する。	A(3)イ,ウ Bイ 内容の取扱い(2)
		5 連綿 ・連綿の分類	68~69		・仮名を書く際の特徴である連綿について理解し、練習する。	A(3)ウ Bイ

月	分野	学習内容 (教科書の構成)	教科 書頁	配当 時数	学習活動	学習指導要領の内容
十一月	仮名の書	6 変体仮名 ・平仮名と変体仮名	70～71		・変体仮名について理解し、練習する。	A(3)イ,ウ B イ 内容の取扱い(2)
		7 全体の構成 ・行書きからの展開 ・散らし書き	72～73	1	・行書きの構成について理解し、練習する。 ・散らし書きの構成について理解し、練習する。	A(3)ア,イ,ウ,エ B イ,ウ 内容の取扱い(1)(2)
		臨書・鑑賞 ・蓬萊切 ・高野切第三種 ・高野切第一種 ・関戸本古今和歌集 ◆チャレンジ ・中務集	74～81	8	・平安時代の代表的な古典を臨書する意義について理解する。 ※「人物」なども活用する。 ・各古典の用筆、運筆、字形の取り方を学び、それぞれの書風の違いに注意して臨書する。 ※「硬筆で練習」なども活用する。 ・各古典を鑑賞する意義について理解する。 ◆チャレンジ ・「中務集」を臨書・鑑賞し、その用筆、運筆、字形の取り方を学ぶ。	A(3)ア,イ,ウ,エ B イ,ウ 内容の取扱い(1)(2)
十二月		創作の手順 ・古典を生かして 創作参考作品	82～84	3	・創作の手順に従い、仮名の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして、創作する。 ・創作参考作品を鑑賞し、感想を述べ合う。	A(3)ア,イ,ウ,エ B イ 内容の取扱い (1)(2)(5)(6)
一月	漢字仮名交じりの書	1 いろいろな線による表現の広がり ・表現の比較	86～87	1	・文字を正しく整えて書く学習活動から、起筆の穂先の向きによって、さまざまな線の表現ができることを理解する。	A(1)イ B イ 内容の取扱い(2)
		2 線質の調和による表現 ・表現の比較	88～89	1	・さまざまな線で楷書と平仮名・片仮名の調和を試みる。 ・さまざまな線で行書と平仮名の調和を試みる。	A(1)イ B イ 内容の取扱い(2)
		3 用具・用材による表現 ・紙・墨・筆の比較	90～91	1	・紙や墨、筆の種類によって、表現に変化をつけられることを理解する。また、用具・用材の組み合わせによっても、表現の幅が広がることを理解する。 ・自分の表現意図に合った効果的な表現方法を模索する。	A(1)ア,イ B イ 内容の取扱い(2)
		4 紙面構成のバリエーション ・文字の大きさと全体構成①(縦書き) ・文字の大きさと全体構成②(横書き)	92～95	1	・縦書きや横書きにおける紙面構成がいろいろあることを理解し、構成により作品の効果に違いが出ることを知る。 ・さまざまな紙面構成を試みる。	A(1)ウ,オ B イ 内容の取扱い(2)
		5 古典を生かした創作 ・「漢字の書」と「仮名の書」	96～97	1	・書道 I で学習する漢字や仮名の古典を参考にして、創作する。	A(1)エ B イ,ウ 内容の取扱い(2)
二月		創作の手順 ・自分で選んだ言葉や詩文で 創作参考作品	98～101	3	・創作の手順に従い、自分で選んだ言葉や詩文で創作する。 ・創作参考作品を鑑賞し、感想を述べ合う。	A(2)ア,イ,ウ,エ,オ B イ 内容の取扱い (1)(2)(5)(6)

月	分野	学習内容 (教科書の構成)	教科 書頁	配当 時数	学習活動	学習指導要領の内容
二 月	漢字 仮名交じりの書	6 生活の中の書 ・封筒・はがき、便箋の書式 ・年賀状、カードなどの書き方 ・贈答用語の書き方 文字の表情を楽しもう	102～107	1	・封筒・はがき・便箋の書式を理解し、自分の創意を生かして書く。 ・年賀状、カードなどの書き方を理解して書く。 ・贈答用の用語の書き方を理解して書く。 ・生活の中の書を探し、その特徴や印象について話し合う。	A(1)ア,イ,ウ,オ B ア,イ 内容の取扱い(2)
	篆刻と刻字	1 篆刻 創作の手順 創作参考作品	108～111	4	・篆刻の用具・用材や創作の手順について理解し、篆刻の仕方について学習する。 ・創作参考作品を鑑賞し、感想を述べ合う。	A(1)ア,イ,ウ,エ B イ,ウ 内容の取扱い(4)
三 月	2 刻字 創作の手順 創作参考作品	112～113	4	・刻字の用具・用材や創作の手順について理解し、刻字の仕方について学習する。 ・創作参考作品を鑑賞し、感想を述べ合う。	A(1)ア,イ,ウ,エ B イ,ウ 内容の取扱い(4)	
	資料	コラム:いろは歌を鑑賞しよう	114		・いろは歌の歴史について理解し、さまざまな形式で書かれたものを鑑賞する。	B イ,ウ

評価	<p>評価は具体的に次のものを対象にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各時間、提出を指示した「作品」 ・作品の構想や感想・評価などを記した「創作カード」「鑑賞カード」 ・学習活動への参加状況（出席状況・学習態度・意見発表等） <p>1年間の評定は上記の内容を総合的に判断する。</p>
----	--

(2) 評価規準例

「書道Ⅰ」の評価の観点の趣旨			
書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組みようとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効能や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。

※各評価の規準の末尾の記号は、学習指導要領の各指導内容を示す。

分野	学習内容 (教科書の構成)	書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
書写から書道へ	1 書写の確認 ・楷書の基本 ・行書の基本	・中学校の書写で学習したことを確認し、漢字と仮名の調和と線質について関心をもち、表現を高めようとしている。[A(1)イ]	・中学校の書写で学習した漢字と仮名の字形や文字の大きさなどが、全体の構成に関わることを理解し、表現を工夫している。[A(1)ウ]	・中学校の書写で学習したことを理解し、全体の構成を考えた表現の技能を身に付け表している。[A(1)ウ]	・正しく整った文字のよさや美しさを感じ取っている。[Bア]
	2 用具・用材 ・文房四宝	・基本的な用具・用材に関する知識や扱い方を理解しようとしている。[A(1)ア]	・用具・用材によって線質や表現が変わることを理解している。[A(1)ア]	・用具・用材の特性を生かした表現効果を理解している。[A(1)ア]	・用具・用材が書作品の中で果たしている役割を知り、用具・用材の効能を理解している。[Bア]
	3 姿勢・執筆法 ・いろいろな姿勢 ・執筆法	・基本的な姿勢・執筆法を理解しようとしている。[A(1)ア]	・基本的な姿勢・執筆法を理解し、表現を工夫している。[A(1)ア]	・基本的な姿勢・執筆法を身に付け、表現に応じた姿勢・執筆法を選択している。[A(1)ア]	・基本的な姿勢・執筆法について幅広く理解している。[Bウ]
漢字の書	1 漢字の書を学ぶ ・漢字の成立と変遷 ・古典に基づく学習【臨書】	・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について関心をもち、そのよさや美しさを感じ取ろうとしている。[Bウ] ・漢字の書体の変遷に関心をもち、意欲的、主体的に理解しようとしている。[Bエ]	・古典のもつ伝統的な美を感受し、臨書の意味や表現方法を理解し、表現を構想し工夫している。[A(2)エ]	・創造的な書表現をするために、臨書の意味や表現方法を理解している。[A(2)ウ]	・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について幅広く理解している。[Bウ] ・漢字の書体の変遷を理解している。[Bエ]
	2 楷書 ・楷書の用筆法・結構法	・基本的な用具・用材に関する知識や扱い方を理解しようとしている。[A(2)ア] ・楷書の基礎・基本を身に付け、書写能力の向上に努めている。[A(2)イ]	・楷書の基本的な点画と、用筆・運筆についてその技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。[A(2)イ]	・用具・用材の特性を生かした表現効果を理解している。[A(2)ア] ・表現技法を高めるために、姿勢、執筆法などの基本的事項を身に付け表している。[A(2)イ]	・基礎・基本的な楷書のよさや美しさを感じ取っている。[Bイ]
	・楷書の成立と唐の四大家	・筆者の感興や意図と字形や線質との関わりに関心をもち、意欲的、主体的に漢字の書的美を味わおうとしている。[A(2)ウ] ・中国の楷書の伝統と文化について関心をもち、そのよさや美しさを感じ取ろうとしている。[Bウ]	・楷書の古典の美とその技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。[A(2)イ] ・楷書の古典のもつ伝統的な美を感受し、表現を構想し工夫している。[A(2)エ]	・創造的な書表現をするために、楷書の点画の構成や唐の四大家の書風の特徴を理解している。[A(2)ウ]	・鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、楷書のよさや美しさを感じ取っている。[Bイ] ・日本及び中国等の楷書の伝統と文化について幅広く理解している。[Bウ]
・楷書の比較	・初唐の二種類の古典を比較することで、楷書的美と技法に関心をもち、表現技法を高めようとしている。[A(2)イ] ・初唐の二種類の古典について関心をもち、そのよさや美しさを感じ取ろうとしている。[Bウ]	・初唐の二種類の古典の比較を通して、楷書の構築的な構造や変化と統一などを理解し、字形の構成や全体の構成を工夫している。[A(2)ウ] ・初唐の二種類の古典のもつ伝統的な美を感受し、表現を構想し工夫している。[A(2)エ]	・創造的な表現をするために、初唐の二種類の古典の字形の構成や全体の構成の要素を理解している。[A(2)ウ]	・初唐の二種類の古典の比較を通して、楷書のよさや美を感じ取っている。[Bイ]	

分野	学習内容 (教科書の構成)	書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
漢字の書	臨書・鑑賞 ・九成宮醴泉銘 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・自書告身 ・牛橛造像記 ・鄭義下碑 ◆チャレンジ ・隅寺心経	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の臨書・鑑賞を通して楷書的美とその技法に関心をもち、表現技法を高めようとしている。【A(2)イ】 ・筆写の感興や意図と字形や線質との関わりに関心をもち、意欲的、主体的に書的美を味わおうとしている。【A(2)ウ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の臨書・鑑賞を通して楷書的美とその表現技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。【A(2)イ】 ・自己の表現のねらいを達成するために、古典のもつ伝統的な美を感受し、表現を構想し工夫している。【A(2)エ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。【A(2)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、楷書のよさや美しさを感じ取っている。【Bイ】 ・日本及び中国の楷書の伝統と文化について幅広く理解している。【Bウ】
	3 行書 ・行書の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の基礎・基本を身に付け、書写能力の向上に努めている。【A(2)イ】 ・行書的美しさと表現効果を味わい、見ることを楽しむことで、書への関心を高めようとしている。【Bイ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・行書的美とその技法の基礎・基本を学び、普遍性のある表現を構築している。【A(2)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。【A(2)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の伝統と文化について幅広く理解している。【Bウ】
	臨書・鑑賞 ・蘭亭序(神龍半印本) ◆チャレンジ ・次の語句で学びましょう。 臨書・鑑賞 ・争坐位文稿 ・風信帖(第一通) ◆チャレンジ ・李嶠詩殘卷 ・伊都内親王願文	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の臨書・鑑賞を通して、行書的美とその技法に関心をもち、積極的に表現技法を高めようとしている。【A(2)イ】 ・日本及び中国の行書の伝統と文化について関心をもち、意欲的、主体的に楷書的美を味わおうとしている。【A(2)ウ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の臨書・鑑賞を通して行書的美とその表現技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。【A(2)イ】 ・自己の表現のねらいを達成するために、古典のもつ伝統的な美を感受し、表現を構想し工夫している。【A(2)エ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。【A(2)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、行書のよさや美しさを感じ取っている。【Bイ】 ・行書の伝統と文化について幅広く理解している。【Bウ】
	4 草書 ・草書の成立と特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・草書の基礎・基本を身に付け、書写能力の向上に努めている。【A(2)イ】 ・草書的美しさと表現効果を味わい、見ることを楽しむことで、書への関心を高めようとしている。【Bイ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・草書的美とその技法の基礎・基本を学び、普遍性のある表現を構築している。【A(2)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・草書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。【A(2)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・草書の伝統と文化について幅広く理解している。【Bウ】
	臨書・鑑賞 ・真草千字文	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の臨書・鑑賞を通して、草書的美とその技法に関心をもち、積極的に表現技法を高めようとしている。【A(2)イ】 ・日本及び中国の草書の伝統と文化について関心をもち、意欲的、主体的に草書的美を味わおうとしている。【A(2)ウ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・各古典の臨書・鑑賞を通して、草書的美とその表現技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。【A(2)イ】 ・自己の表現のねらいを達成するために、古典のもつ伝統的な美を感受し、表現を構想し工夫している。【A(2)エ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・草書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。【A(2)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、草書のよさや美しさを感じ取っている。【Bイ】 ・草書の伝統と文化について幅広く理解している。【Bウ】
	5 隷書 ・隷書の成立と特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・隷書の基礎・基本を身に付け、書写能力の向上に努めている。【A(2)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・隷書的美とその技法の基礎・基本を学び、普遍性のある表現を構築している。【A(2)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・隷書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。【A(2)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・隷書的美やよさを感じ取っている。【Bイ】 ・隷書の伝統と文化について幅広く理解している。【Bウ】

分野	学習内容 (教科書の構成)	書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
漢字の書	臨書・鑑賞 ・曹全碑 ◆チャレンジ ・乙瑛碑 ・居延漢簡	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の臨書・鑑賞を通して、隷書的美とその技法に関心をもち、積極的に表現技法を高めようとしている。[A(2)イ] ・中国の隷書の伝統と文化について関心をもち、意欲的、主体的に隷書的美を味わおうとしている。[A(2)ウ] 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の臨書・鑑賞を通して、隷書的美とその表現技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。[A(2)イ] ・自己の表現のねらいを達成するために、古典のもつ伝統的な美を感受し、表現を構想し工夫している。[A(2)エ] 	<ul style="list-style-type: none"> ・隷書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。[A(2)イ] 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、隷書のよさや美しさを感じ取っている。[Bイ] ・隷書の伝統と文化について幅広く理解している。[Bウ]
	6 篆書 ・篆書の成立と特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・篆書の基礎・基本を身に付け、書写能力の向上に努めている。[A(2)イ] 	<ul style="list-style-type: none"> ・篆書的美とその技法の基礎・基本を学び、普遍性のある表現を構築している。[A(2)イ] 	<ul style="list-style-type: none"> ・篆書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。[A(2)イ] 	<ul style="list-style-type: none"> ・篆書的美やよさを感じ取っている。[Bイ] ・篆書の伝統と文化について幅広く理解している。[Bウ]
	臨書・鑑賞 ・泰山刻石	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の臨書・鑑賞を通して、篆書的美とその技法に関心をもち、積極的に表現技法を高めようとしている。[A(2)イ] ・中国の篆書の伝統と文化について関心をもち、意欲的、主体的に隷書的美を味わおうとしている。[A(2)ウ] 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の臨書・鑑賞を通して、篆書的美とその表現技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。[A(2)イ] ・自己の表現のねらいを達成するために、古典のもつ伝統的な美を感受し、表現を構想し工夫している。[A(2)エ] 	<ul style="list-style-type: none"> ・篆書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。[A(2)イ] 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、篆書のよさや美しさを感じ取っている。[Bイ] ・篆書の伝統と文化について幅広く理解している。[Bウ]
	創作の手順 ・古典の特徴や技法を生かして 創作参考作品	<ul style="list-style-type: none"> ・用具・用材と表現との関係に関心をもち、意欲的、主体的な表現に取り組もうとしている。[A(2)ア] ・古典的美とその技法に関心をもち、表現技法を高めようとしている。[A(2)イ] ・筆者の感興や意図と字形や線質との関わりに関心をもち、意欲的、主体的に漢字の書的美を味わおうとしている。[A(2)ウ] ・表現活動を通して、意図的、主体的に表現の構想から完成に至るまでの充実感や喜びを味わおうとしている。[A(2)エ] 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具・用材によって線質や表現が変わることを理解し、表現を工夫している。[A(2)ア] ・漢字の書に対する感性を働かせて、自らの意図に基づいて表現を構想し工夫している。[A(2)イ] ・漢字の書の構築的な構造や変化と統一などを理解し、字形の構成や全体の構成を工夫している。[A(2)ウ] ・自己の表現のねらいを達成するために、古典のもつ伝統的な美を感受し、表現を構想し工夫している。[A(2)エ] 	<ul style="list-style-type: none"> ・創造的な書表現をするために、用具・用材と表現効果が密接に関係していることを理解している。[A(2)ア] ・漢字の基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。[A(2)イ] ・創造的な表現をするために、字形の構成や全体の構成の要素を理解している。[A(2)ウ] ・創造的な表現をするために、用具・用材、線質、字形、全体の構成などの表現の技能を身に付け表している。[A(2)エ] 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、書のよさや美しさを感じ取っている。[Bイ] ・創造的な表現をするために、創作参考作品を鑑賞して、その美やよさについて、意見交換をしている。[Bイ]
仮名の書	1 仮名の成立 ・仮名の種類 ・現在の仮名の種類 ・仮名の美	<ul style="list-style-type: none"> ・用具・用材と表現との関係に関心をもち、意欲的、主体的な表現に取り組もうとしている。[A(3)ア] ・表現技法の基礎・基本を身に付け、仮名の書の書写能力の向上に努めている。[A(3)イ] ・仮名の書の成立に関心をもち、意欲的、主体的に理解しようとしている。[Bエ] 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の書的美とその技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。[A(3)イ] 	<ul style="list-style-type: none"> ・創造的な表現をするために用具・用材と表現効果が密接に関係することを理解している。[A(3)ア] ・仮名の基本的な線質と用筆・運筆との関係を理解し、創造的な技法を身に付け、表している。[A(3)イ] 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の成立等を理解している。[Bエ]

分野	学習内容 (教科書の構成)	書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
仮名の書	2 仮名の用具・用材 ・用具・用材の種類	・基本的な用具・用材に関する知識や扱い方を理解しようとしている。【A(3)ア】	・用具・用材によって線質や表現が変わることを理解し、表現を工夫している。【A(3)ア】	・用具・用材と表現効果が密接に関係していることを理解している。【A(3)ア】	・仮名の用具・用材等を理解している。【Bエ】
	3 仮名の筆使い ・いろいろな線	・表現技法の基礎・基本を身に付け、仮名の書の書写能力の向上に努めている。【A(3)イ】	・仮名の書の美とその技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。【A(3)イ】	・仮名の基本的な線質と用筆・運筆との関係を理解し、創造的な技法を身に付け表している。【A(3)イ】	・基礎・基本的な仮名のよさや美しさを感じ取っている。【Bイ】
	4 平仮名の単体 ・古典から集字した平仮名	・連綿や変体仮名など、表現技法の基礎・基本を身に付け、仮名の書の書写能力の向上に努めている。【A(3)イ】 ・自らの感性や意図に基づいて、平仮名の単体の書き方を工夫しようとしている。【A(3)ウ】	・仮名の書の美とその技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。【A(3)イ】 ・平仮名の単体など日本の伝統的な書の美を感受し、表現を工夫している。【A(3)ウ】	・仮名の基本的な線質と用筆・運筆との関係を理解し、創造的な技法を身に付け表している。【A(3)イ】 ・運筆の律動性や筆脈の把握を通して、仮名の美の特質を理解し、その技法を身に付け表している。【A(3)ウ】	・平仮名の単体など仮名の書の伝統と文化について関心をもち、そのよさや美しさを感じ取っている。【Bイ】
	5 連綿 ・連綿の分類	・自らの感性や意図に基づいて、平仮名の連綿の書き方を工夫しようとしている。【A(3)ウ】	・仮名の書の美に対する感性を働かせて、自らの意図に基づいて連綿の表現を構想し工夫している。【A(3)ウ】	・運筆の律動性や筆脈の把握を通して、仮名の美の特質を理解し、その技法を身に付け表している。【A(3)ウ】	・平仮名の連綿など仮名の書の伝統と文化について関心をもち、そのよさや美しさを感じ取っている。【Bイ】
	6 変体仮名 ・平仮名と変体仮名	・古筆の美とその技法に関心をもち、表現技法を高めようとしている。【A(3)イ】 ・自らの感性や意図に基づいて、変体仮名や全体の構成を工夫しようとしている。【A(3)ウ】	・仮名の書の美に対する感性を働かせて、自らの意図に基づいて変体仮名による表現を構想し工夫している。【A(3)ウ】	・変体仮名の基本的な線質と用筆・運筆との関係を理解し、創造的な技法を身に付け表している。【A(3)イ】	・変体仮名など仮名の書の伝統と文化について関心をもち、そのよさや美しさを感じ取っている。【Bイ】
7 全体の構成 ・行書きからの展開 ・散らし書き	・用具・用材と表現との関係に関心をもち、意欲的、主体的な表現に取り組もうとしている。【A(3)ア】 ・古筆の美とその技法に関心をもち、表現技法を高めようとしている。【A(3)イ】 ・自らの感性や意図に基づいて、単体、連綿や全体の構成を工夫しようとしている。【A(3)ウ】	・単体、連綿や全体の構成など日本の伝統的な書の美を感受し、表現を工夫している。【A(3)ウ】 ・自己の表現のねらいを達成するために、古筆のもつ伝統的な美を生かし、表現を構想し工夫している。【A(3)エ】	・運筆の律動性や筆脈の把握を通して、仮名の美の特質を理解し、その技法を身に付け表している。【A(3)ウ】 ・創造的な表現をするために基礎・基本的な構成などを理解している。【A(3)ウ】	・鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、仮名の書のよさや美しさを感じ取っている。【Bイ】 ・仮名の書の伝統と文化について幅広く理解している。【Bウ】	

分野	学習内容 (教科書の構成)	書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
仮名の書	臨書・鑑賞 ・蓬萊切 ・高野切第三種 ・高野切第一種 ・関戸本古今和歌集 ◆チャレンジ ・中務集	<ul style="list-style-type: none"> 用具・用材と表現との関係に関心をもち、意欲的、主体的な表現に取り組もうとしている。【A(3)ア】 古筆の美とその技法に関心をもち、表現技法を高めようとしている。【A(3)イ】 筆者の感興や意図と、単体・連綿や線質との関わりに関心をもち、意欲的、主体的に仮名の美を味わおうとしている。【A(3)ウ】 仮名の書の伝統と文化について関心をもち、そのよさや美しさを感じ取るようとしている。【Bウ】 	<ul style="list-style-type: none"> 仮名の書の美とその技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。【A(3)イ】 単体、連綿や全体の構成など日本の伝統的な書の美を感受し、表現を工夫している。【A(3)ウ】 自己の表現のねらいを達成するために、古筆のもつ伝統的な美を生かし、表現を構想し工夫している。【A(3)エ】 	<ul style="list-style-type: none"> 仮名の基本的な線質と用筆・運筆との関係を理解し、創造的な表現技法を身に付け、表現している。【A(3)イ】 表現技法を高めるために、姿勢・執筆法などの基本的事項を身に付け、表現している。【A(3)イ】 運筆の律動製や筆脈の把握を通して、仮名の美の特質を身に付け、表現している。【A(3)ウ】 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、仮名の書のよさや美しさを感じ取っている。【Bイ】 日本の書の伝統と文化について幅広く理解している。【Bウ】
	創作の手順 ・古典を生かして 創作参考作品	<ul style="list-style-type: none"> 用具・用材と表現との関係に関心をもち、意欲的、主体的な表現に取り組もうとしている。【A(3)ア】 筆者の感興や意図と、単体・連綿や線質との関わりに関心をもち、意欲的、主体的に仮名の美を味わおうとしている。【A(3)ウ】 表現活動を通して、意図的、主体的に表現の構想から完成に至るまでの充実感や喜びを味わおうとしている。【A(3)エ】 仮名の書の美しさと表現効果を味わい、見ることを楽しむことで、書への関心を高めようとしている。【Bイ】 	<ul style="list-style-type: none"> 仮名の書の美に対する感性を働かせて、自らの意図に基づいて表現を構想し工夫している。【A(3)イ】 単体、連綿や全体の構成など日本の伝統的な書の美を感受し、表現を工夫している。【A(3)ウ】 自己の表現のねらいを達成するために、古筆のもつ伝統的な美を生かし、表現を構想し工夫している。【A(3)エ】 	<ul style="list-style-type: none"> 用具・用材の特性を生かした表現効果を理解し、表現に応じた用具・用材を選択している。【A(3)ア】 創造的な仮名の書の表現をするために、用具・用材と表現効果が密接に関係していることを理解している。【A(3)ア】 創造的な仮名の書の表現をするために、基本的な構成などを理解している。【A(3)ウ】 創造的な仮名の書の表現をするために、用具・用材、線質、字形、墨色、全体の構成などの表現の技能を身に付け、表している。【A(3)エ】 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、仮名の書のよさや美しさを感じ取っている。【Bイ】 創造的な表現をするために、創作参考作品を鑑賞して、その美やよさについて、意見交換をしている。【Bイ】
漢字仮名交じりの書	1 いろいろな線による表現の広がり ・表現の比較	<ul style="list-style-type: none"> 線質の違いによるさまざまな表現のよさや美しさに関心をもち、表現を高めようとしている。【A(1)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> 線質が漢字と仮名の調和を図る重要な要素であることを理解し、表現を工夫している。【A(1)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字と仮名の線質の調和を図る技能を身に付け、表している。【A(1)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な線質による表現の違いを感じ取っている。【Bイ】
	2 線質の調和による表現 ・表現の比較	<ul style="list-style-type: none"> 漢字と仮名の調和と線質との関係について関心をもち、表現を高めようとしている。【A(1)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> 線質が漢字と仮名の調和を図る重要な要素であることを理解し、表現を工夫している。【A(1)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字と仮名の線質の調和を図る技能を身に付け、表している。【A(1)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字と仮名の線質の調和による美を感じ取っている。【Bイ】
	3 用具・用材による表現 ・紙・墨・筆の比較	<ul style="list-style-type: none"> 用具・用材と表現との関係に関心をもち、意欲的、主体的な表現に取り組もうとしている。【A(1)ア】 漢字と仮名の調和と線質との関係について関心をもち、表現を高めようとしている。【A(1)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> 用具・用材によって線質や表現が変わることを理解し、表現を工夫している。【A(1)ア】 線質が漢字と仮名の調和を図る重要な要素であることを理解し、表現を工夫している。【A(1)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> 用具・用材の特性を生かした表現効果を理解し、表現に応じた用具・用材を選択している。【A(1)ア】 実用的な表現や芸術的な表現を理解し、漢字と仮名の線質の調和を図る技能を身に付け、表している。【A(1)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> 用具・用材による、表現の違いと美を感じ取っている。【Bイ】

分野	学習内容 (教科書の構成)	書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
漢字仮名交じりの書	4 紙面構成のバリエーション ・文字の大きさと全体構成①(縦書き) ・文字の大きさと全体構成②(横書き)	・縦書きと横書きの紙面構成について関心を持ち、自らの構想に基づいて意欲的、主体的に活動を行おうとしている。[A(1)ウ] ・表現の構想から完成に至るまで、意欲的、主体的に表現活動に取り組もうとしている。[A(1)オ]	・縦書きと横書きや行頭・行末のそろえ方などが紙面構成に関わることを理解し、表現を工夫している。[A(1)ウ] ・自己の表現のねらいを達成するために、自らの表現意欲を高め、用具・用材、線質、字形、全体の構成などについて工夫している。[A(1)オ]	・文字や文字群と余白との関係を理解し、全体の構成を考えた技能を身に付け、表している。[A(1)ウ] ・創造的な表現をするために、用具・用材、線質、字形、全体の構成などの技能を身に付け、表している。[A(1)オ]	・紙面構成による、表現の違いを理解し、書のよさや美を感じ取っている。[Bイ]
	5 古典を生かした創作 ・「漢字の書」と「仮名の書」	・古典や名筆のよさや美しさに関心を持ち、表現技法を高めようとしている。[A(1)エ] ・日本及び中国の文字と書の伝統と分館について関心を持ち、そのよさや美しさを感じとろうとしている。[Bウ]	・古典や名筆のよさや美しさを感じ取り、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。[A(1)エ]	・古典や名筆のよさや美しさを生かして表現する技能を身に付け、表している。[A(1)エ]	・鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、古典や名筆のよさを感じ取っている。[Bイ] ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について幅広く理解している。[Bウ]
	創作の手順 ・自分で選んだ言葉や詩文で 創作参考作品	・用具・用材と表現との関係に関心を持ち、意欲的、主体的に表現に取り組もうとしている。[A(1)ア] ・名筆のよさや美しさに関心を持ち、表現技法を高めようとしている。[A(1)エ] ・目的や用途に即した芸術的な表現について基礎的な事項を理解し、自ら表現活動を楽しんで行おうとしている。[A(1)オ] ・表現の構想から完成に至るまで、意欲的、主体的に表現活動に取り組もうとしている。[A(1)オ] ・書の美しさと表現効果を楽しむことで、書への関心高めようとしている。[Bイ]	・用具・用材によって線質や表現が変わることを理解し、表現を工夫している。[A(1)ア] ・漢字と仮名の調和した線質の表し方やその美しさを理解し、表現を工夫している。[A(1)イ] ・漢字と仮名の字形や文字の大きさなどが全体の構成に関わることを理解し、表現を工夫している。[A(1)ウ] ・自己の表現のねらいを達成するために、自らの表現意欲を高め、用具・用材、線質、字形、全体の構成などについて工夫している。[A(1)オ]	・用具・用材の特性を生かした表現効果を理解し、表現に応じた用具・用材を選択している。[A(1)ア] ・文字や文字群と余白との関係を理解し、全体の構成を考えた技能を身に付け、表している。[A(1)ウ] ・芸術的な表現をするために、形式や表し方を理解し、目的や用途に即して表現する技能を身に付け、表している。[A(1)オ] ・創造的な表現をするために、用具・用材、線質、字形、全体の構成などの技能を身に付け、表している。[A(1)オ]	・鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、書のよさや美しさを感じ取っている。[Bイ] ・創造的な表現をするために、創作参考作品を鑑賞して、その美やよさについて、意見交換をしている。
6 生活の中の書 ・封筒・はがき、便箋の書式 ・年賀状、カードなどの書き方 ・贈答用語の書き方 文字の表情を楽しもう	・地域の文化財や美術館などに関心を持ち、活用しようとしている。[A(1)ア] ・目的や用途に即した芸術的・実用的な表現について基礎的な事項を理解し、自ら表現活動を楽しんで行おうとしている。[A(1)オ] ・書の魅力や日常生活における書の効用など、書への興味・関心を持っている。[Bア] ・日常生活における手書き文字の良さや美しさを感じ取ろうとしている。[Bイ]	・用具・用材によって、線質や表現が変わることを理解し、表現を工夫している。[A(1)ア] ・漢字と仮名の字形や、文字の大きさなどが全体の構成に関わることを理解し、表現を工夫している。[A(1)ウ] ・目的や用途に即した形式と表し方を判断し、文字の大きさ、配列、書体など、それぞれに適した表現を工夫している。[A(1)オ]	・実用的な表現をするために、用具・用材と表現効果が密接に関係していることを理解している。[A(1)ア] ・文字や文字群と余白との関係を理解し、目的や用途に即した書式や表現を選択する技能を身に付け、表現している。[A(1)ウ] ・芸術的な表現や実用的な表現をするために、形式や表し方を理解し、目的や用途に即して表現する技能を身に付け、表している。[A(1)オ]	・書が生活の中で果たしている役割を知り、書の効用を理解している。[Bア] ・日常生活における手書き文字のよさや美しさを感じ取っている。[Bイ]	

分野	学習内容 (教科書の構成)	書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
篆刻と刻字	1 篆刻 創作の手順 創作参考作品	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な用具・用材に関する知識や扱い方を理解しようとしている。[A(1)ア] 篆刻の美しさと表現効果を味わい、見ることを楽しむことで、篆刻への関心を高めようとしている。[A(1)エ] 	<ul style="list-style-type: none"> 篆刻の表し方やその美しさを理解し、表現を工夫している。[A(1)イ] 漢字と仮名の字形や、文字の大きさなどが全体の構成に関わることを理解し、表現を工夫している。[A(1)ウ] 	<ul style="list-style-type: none"> 用具・用材の特性を生かした表現効果を理解し、表現に応じた用具・用材を選択している。[A(1)ア] 文字や印材と余白との関係を理解し、全体の構成を考えた技能を身に付け、表している。[A(1)ウ] 	<ul style="list-style-type: none"> 篆刻の美やよさを感じ取っている。[Bイ] 篆刻の伝統と文化について幅広く理解している。[Bウ]
	2 刻字 創作の手順 創作参考作品	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な用具・用材に関する知識や扱い方を理解しようとしている。[A(1)ア] 刻字の美しさと表現効果を味わい、見ることを楽しむことで、刻字への関心を高めようとしている。[A(1)エ] 	<ul style="list-style-type: none"> 刻字の表し方やその美しさを理解し、表現を工夫している。[A(1)イ] 漢字と仮名の字形や、文字の大きさなどが全体の構成に関わることを理解し、表現を工夫している。[A(1)ウ] 	<ul style="list-style-type: none"> 用具・用材の特性を生かした表現効果を理解し、表現に応じた用具・用材を選択している。[A(1)ア] 文字や板と余白との関係を理解し、全体の構成を考えた技能を身に付け、表している。[A(1)ウ] 	<ul style="list-style-type: none"> 刻字の美やよさを感じ取っている。[Bイ] 刻字の伝統と文化について幅広く理解している。[Bウ]